

豊田中学区新設小学校についてのお知らせ



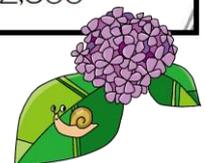
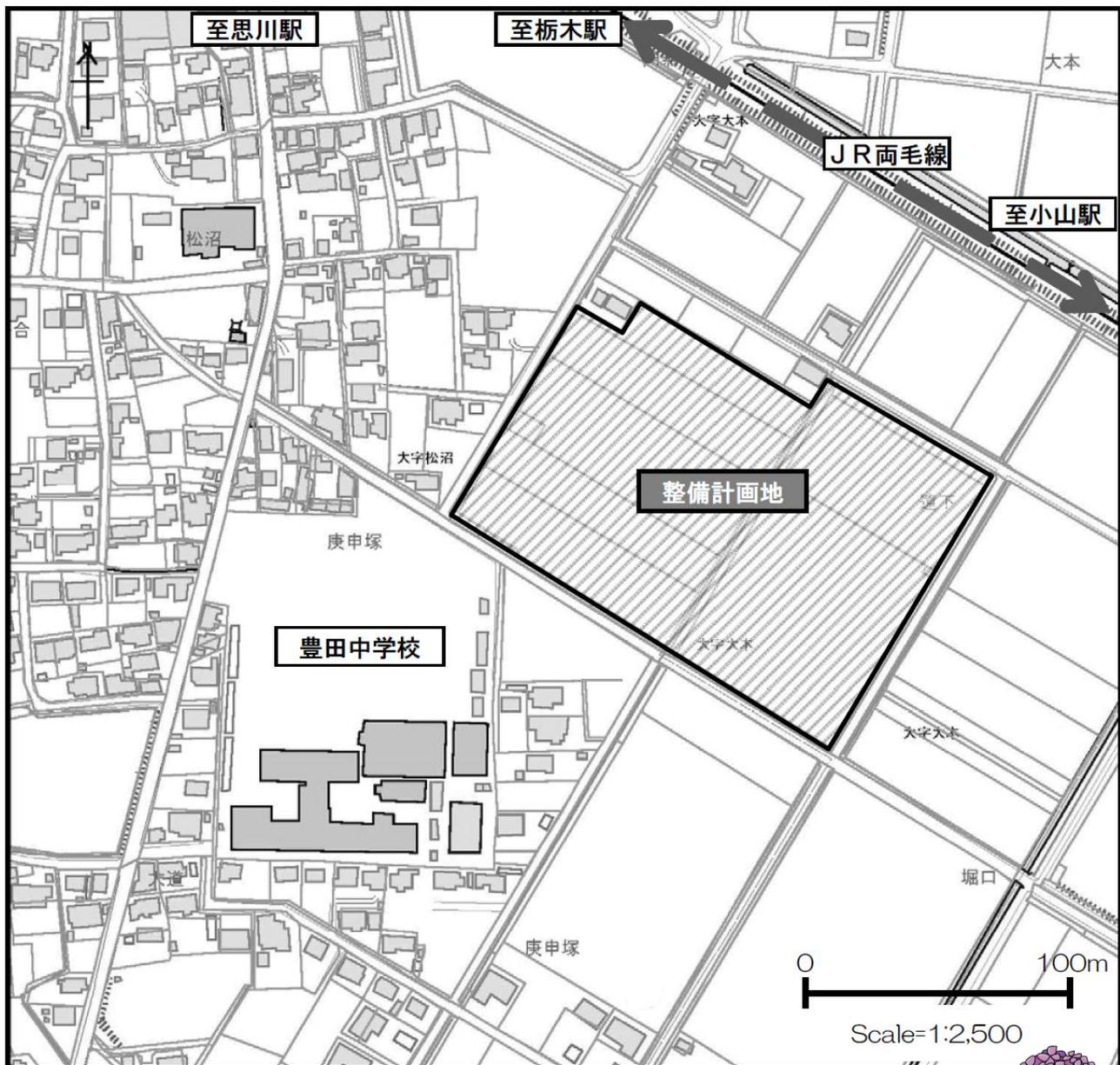
平成28年7月 第7号

小中一貫校（豊田中学区）推進委員会

●豊田中学区新設小学校 整備計画地が決定しました！！

小中一貫校（豊田中学区）推進委員会では、豊田中と連携した小中一貫校として、豊田北小と豊田南小とを統合し、新設校を設置する方針のもと、整備計画地の検討を進めてまいりました。

本推進委員会での検討結果をもとに、既存の豊田中学校舎と連携することを前提として、地域の現状（通学路の安全性、道路アクセス性、周辺住宅・環境への影響、既存道路の有無などの評価項目）を考慮し、以下のとおり整備計画地が決定いたしました。



●平成27年度 第5・6回推進委員会

平成27年度第5回目、第6回目の会議が、それぞれ3月1日、29日に豊田公民館で開催されました。

第5回目は、新設小学校の整備理念（キャッチフレーズ）についての再検討、整備計画地、施設配置、施設整備方針の検討などを行いました。

第6回目は、今までの推進委員会の検討を踏まえ、小山市としての構想をまとめた小山市豊田地区新設小学校基本構想(案)をお示しし、審議後決定いたしました。



●今回は、第5・6回推進委員会での検討をもとにまとめられた、「小山市豊田地区新設小学校基本構想」から、新設小学校の整備理念（キャッチフレーズ）と整備基本目標を紹介します。

●豊田中学区新設校整備理念（キャッチフレーズ）について

豊田地区の誇りとなり、みんなに愛される学校づくりのため、昨年10月に実施されましたアンケート結果を受けて、本推進委員会では、右のように整備理念を決定いたしました。

あんしん・かいてき 夢ある豊田の小中一貫校

とよだっ子

よく学び、よく遊ぶ

だれもが笑顔の学舎づくり まなびや

●整備基本目標

整備理念を踏まえ、豊田地区統合小学校の整備基本目標を次のように設定します。

基本目標 1

安全・安心で、快適な学舎づくり

安全・安心

快適

- 十分な耐震性能の確保
- 地域の防災拠点として
- 防犯性の確保
- 快適な学習環境づくり
- トイレや手洗い場等の清潔で明るい環境確保



【地域の防災拠点としての機能確保】



【快適な室内空間の確保】

基本目標 2

機能的で小中一貫校にふさわしい学舎づくり

機能的

小中一貫校

- 学習関係諸室の確保と機能的配置
(想定児童数への対応、高度化・多様化する教育環境への対応
小中一貫校教育の実践への対応)



【高度化する教育環境への対応】



【小中一貫教育の実践】



基本目標 3

交流と絆を育む学舎づくり

交流

絆

- 交流に寄与する諸室の配置
(子ども同士、子どもと職員、児童と生徒間子どもと地域住民間)
- 交流を通じた絆の醸成



【児童と生徒の交流の場の確保】



【児童と地域住民との交流機会の創出】



基本目標 4

やさしさと魅力あふれる学舎づくり

やさしさ

魅力

- 環境にやさしい学校整備
- 心にやさしい学校整備
- 周辺の田園環境に調和した施設の形態や色彩への配慮
- 適切な緑環境の確保
- 子どもたちや地域の自慢となる魅力的な学校整備
- 子どもたちがワクワクするような空間的工夫



【木質素材の積極的活用】



【ワクワクする空間的工夫】

昨年度第5回・第6回推進委員会内での質問については下記をご覧ください。

【平成27年度 第5回・第6回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- Q 新設校建設時に道路拡張を見越して敷地を取得し、拡張工事をおこなうことはあるのか？
- A 候補地の周囲は用排水路が通っており、道路拡張となれば、他の土地への影響も考えねばなりません。道路拡張は土地改良区や県との調整も必要となり、様々な制約が出てくるため、難しいと思われます。
- Q 新設校の正門について、遠足等で学校に大型バスが入ってくる場合、現在の道幅では難しいと感じる。また、踏切が近くにあるため、踏切待ちの車が渋滞し、連なってしまうと、通学路の安全に影響してくるため、非常に心配である。
- A 今後現状を確認し、不足があれば対応したいと考えております。
- Q 豊田地区統合小学校の配置諸室において1クラス30～40人程度との記載だが、実際は40人を超えた人数で1クラスとなることはあるのか？
- A 現在、小学校1年生と2年生においては1クラス35人が定員となっております。また、小学校3年生～6年生については1クラス40人が定員となっております。そのため、1クラスの人数はこの定めに基づいて決定されます。今回の基本構想(案)において、1クラス30人～40人との曖昧な記載になっている部分は訂正して表記いたします。
- Q 給食について、「羽川西小学校からの配食を想定」となっているが、今回の水害で羽川西小が機能を失ったことを考えると、今後配食先の再検討はあるのか？
- A 現時点では羽川西小学校からの配食を考えております。大雨の際も内水が校舎や体育館へ及ばないように、現在、担当課で対策を検討しているところです。給食室が被害を受けて配食できなくならないよう、きちんと対策を講じてまいります。
- Q 地域住民に対する説明会やアンケートは、平成28年度も行う予定があるか。
- A 現在のところ、地域説明会や地域へのアンケート調査は予定しておりません。今後、学校名や跡地利用などの検討の際は、アンケート調査を実施する予定です。
- Q トイレについては洋式のトイレとなるのか。
- A 基本的には洋式で対応したいと考えております。また、教育的観点から、一部和式も残し利用することも検討いたします。

●こんな学校もある！ ～先進地を紹介します～

鹿沼市立栗野小学校

「木のまち鹿沼」として木造にこだわり、地元産の材料を使用し地場産業の力を結集して建設する『地材地建』を実現。木の温もりが感じられる学校施設を目指した施設です。

推進委員会では、こういった先進地についての情報提供も行い、豊田地区に合う学校づくりをすすめてまいります。



●今後の予定 《基本計画の作成へ》

H28年度の小山市小中一貫校(豊田中学区)推進委員会は、施設配置ゾーニング(校舎やグラウンド、体育館等をどの位置に建てるか)、動線と学校諸室の配置(児童生徒教師の動きを考えた普通教室、特別教室、職員室、多目的ルーム等の配置)を具体的に定めた「基本計画」について検討してまいります。本年度も全6回の推進委員会を予定しており、第1回目は、7月中旬に開催します。